

体育指導概要

年齢・クラスにより指導内容及び到達目標に変化を持たせ、子供達の能力を最大限に伸ばす。安全で自由に活動できる環境を用意し、身体を動かすことの楽しさを身に付けさせ、出来なくてもいい何事にも最後まで頑張る精神力を養う。

1. マット運動

模倣動作（イヌ・カエル・ペンギン）・ブリッジ・前転系（前転・開脚前転）・後転系（後転・開脚後転）・倒立系（三点倒立・倒立前転）

2. 跳び箱運動

両足とび（踏み切り）・開脚とびのり・開脚とび・台上前転

3. 鉄棒運動

ぶらさがり・腕支持・前回り降り・中抜き戻し・逆上がり

腕支持後回り

4. ボール運動

転がす・投げる・うける・ドリブル（両手・片手）

5. なわとび運動

波とび・前とび・後ろとび・あやとび

6. 水 泳

2・3歳児 水遊び 4・5歳児 伏し浮き・バタ足

保育活動のねらい

安全な環境の中で、保育者との個人的なふれあいを配慮しながら、自発的に周囲の事物を知ろうとする力の芽生えを養い、言葉の習慣を助け、友達への関心を育てる

2才児・3才児

1. 「自分でしよう」という気持ちを大切にしながら、模倣活動や言語活動を促進する
2. 回りの環境や友達との関係を広げて、表現活動の芽生えを育てる
3. 子供達の要求を大切にしながら、基本的な生活習慣の自立を図る
4. 集団生活への適応の初歩的段階を経験させる
5. 遊びを通して、生活経験の拡大と創造性の芽生えを育てる

4才児・5才児

1. 自発活動の場を十分に与え、やり遂げたことへの喜びを持たせる
2. 健康生活に必要な習慣の自立を図る
3. 保育者や身近な大人の指示に従って、必要な行動が安全にできる
4. 聞くこと話すことが豊かになるようにする
5. 歌う音楽と聞く音楽に対する楽しさを十分に味合わせる
6. 色々な材料や用具を使って、物を作ったり絵を描いたりなどの造形活動を十分に持たせる